



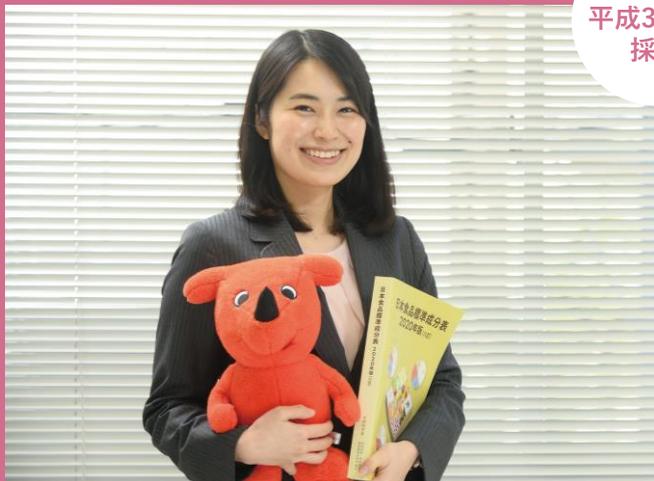
清村 のぞみ

Kiyomura Nozomi

平成30年度
採用

異動経歴

H30年採用 夷隅保健所（健康福祉センター）
H31年 野田保健所（健康福祉センター）
R4年 松戸保健所（健康福祉センター）



Q1 あなたが採用された職種の魅力について教えてください。

食を通して、県民の皆さんの健康づくりに広域的に関わることができる点です。管理栄養士が活躍することができる職場は民間企業も含めて数多くありますが、多くの方々の一次予防に携われることは県の管理栄養士の魅力です。

また、定期的に異動があり、県内の様々な地域の特性・魅力を知りながら仕事ができることも、この職種の魅力であると思います。

Q2 仕事の内容とやりがいを感じる瞬間について教えてください。

給食施設の指導、食品表示に関する事業、国民（県民）健康・栄養調査、地域・職域連携推進事業、受動喫煙対策事業等が業務内容です。

給食施設の指導では、給食施設において適切な栄養管理が行われるように個別巡回や研修会を通して助言・指導を行っています。施設の栄養士が抱えている疑問や不安を一緒に解決することができた際にはやりがいを感じます。

Q3 千葉県を選んだ理由を教えてください。

大学で公衆栄養学の研究室に所属したことがきっかけで、管理栄養士の資格を生かし多くの人の健康に関わることができる行政栄養士を志しました。

就職する自治体を考えるにあたり、自分が生まれ育った場所であり、愛着を感じていた千葉県を選びました。

Q4 職場の雰囲気について教えてください。

保健所には様々な職種の職員がおり、それぞれの専門に応じた業務に取り組んでいます。

管理栄養士の配置は各保健所で1,2名程度となることが多いですが、給食施設や食品表示の指導、受動喫煙対策等では多くの他職種と協力して業務に取り組んでいます。

Q5 仕事をする上で心掛けていることを教えてください。

管理栄養士としての知識だけでなく、行政の職員として根拠法令等に関する知識も最新のものとし、適切に業務を行えるよう心掛けています。

Q6 仕事の中で難しく感じていることや苦勞したこと、大変だったことを教えてください。

公衆衛生については大学で学んでいましたが、実際に働いてみると知識不足を痛感しました。給食施設指導や食品表示指導では根拠法令を細かいところまで理解していないと、相手に適切に説明できません。また、様々な相談に対応できるよう最新の知識を身に付ける必要があると感じています。

Q7 あなたの考える千葉県の魅力を教えてください。

自然がたくさんあり、食べ物が美味しいところです。東葛地域出身なのですが、初任地が夷隅保健所であったことをきっかけに、夷隅や安房地域の魅力に気づきました。

Q8 休日や退庁後の余暇の過ごし方について教えてください。

運動不足解消のため、ヨガに通っています。
連休には旅行にでかけることもよくあります。その土地の美味しいものを堪能したり、温泉に入ったりリフレッシュしています。千葉県には日帰り旅行でも楽しめる場所がたくさんあります。

Q9 今後の目標や挑戦してみたいことなどを教えてください。

コロナ禍を経て、オンラインを活用した効率的な事業の実施方法を考えていく必要があると感じたので、その分野についての知識を身に付けたいと思います。

Q10 受験者へのメッセージをお願いします。

管理栄養士の専門性を生かせる職場です。一緒に県民の皆さんの健康づくりに取り組みましょう！

ある一日の流れをピックアップ

- 8:30 出勤・メールチェック
- 9:00 食品表示相談対応
- 10:30 相談対応記録作成
- 12:00 昼食
- 13:00 給食施設巡回指導（2施設）
- 16:30 指導記録作成
- 17:15 退庁

